

はら幸子のプロフィール

- 1970年(昭和45年)9月20日 故・原 盛一の長女として旧仙北町に生まれる。
- 秋田県立大曲高等学校卒業
- 自由民主党かながわ政治大学校 第10期修了
- 秋田県社会福祉事業団 高清水園勤務
- 現在、夫と子ども3人(7歳、5歳、3歳)、夫の両親と同居。



後援会ご入会のおすすめ

- この会は「はら幸子」の政治活動を支援し、地域の発展と生活文化の振興に寄与することを目的としています。

はら幸子後援会事務所

〒014-0112 秋田県大仙市板見内字弥兵衛谷地238
TEL.0187-87-2270 FAX.0187-87-2271
自宅／秋田県大仙市刈和野字上ノ台荒屋敷27-6
<http://www.hara-kouko.net> メール/info@hara-kouko.net

討議資料

こうと
はら幸子
HARA KOUKO
<http://www.hara-kouko.net>
36才

応援メッセージ

山東昭子 参議院議員からの応援メッセージ

幸子さんとの出会いは私が講師を務めた自民党神奈川県連政治大学校でした。

政治を学ぶため毎週、大仙市と横浜市を往復していた彼女は、肺臓がんで亡くなった父上の原盛一県議が実現に意欲を燃やしていた秋田県の医療格差の解消をNHKテレビ討論番組や県議会への請願書という形で訴えていたことを思い出します。

そして、このたび議会でその先頭に立つ決断をしたと聞き、私は全力で彼女を応援したいと思っています。皆様のご支援を心よりお願いいたします。



三浦第三 後援会長からの応援メッセージ

確かな政治理念と熱き情熱で秋田県政に大きな足跡を残された、亡き父・原盛一氏の意志を娘の幸子さんが引き継ぐことになりました。

何事に対しても真剣に取り組む姿勢は、すがすがしく、幸子さんの素直さと謙虚さは持て生まれた資質そのものです。

3人の子育て真っ最中の幸子さんは、医療・福祉・教育の分野に造詣が深く、地域の教育力再生の取り組みになくてはならない地域の代表者です。

新しい「県政」は、情熱ある若い政治家に託す時です。はら幸子さんこそ、これから「県政」を安心して託すことのできる人物であると確信しております。

「抗がん剤治療専門医の育成に関する請願運動」で見せた、幸子さんのフットワークと独創性こそ変化の激しい今の「県政」に必要な能力です。

皆さまのさまざまな期待に応えるべく、「日々挑戦」を怠らず一日も早く仕事を覚えて一人前になる決意を持っております。何卒、お力添えを頂けますようお願い申し上げます。



子どもたちに、未来のある秋田を！

はら幸子が掲げる3つの基本政策

基本政策
1

がん医療対策の改善



肺臓がんで亡くなった父（故・原盛一元秋田県議会議員）の意志を引き継ぎます。

「地域がん診療・連携拠点病院」指定後には、県独自の役割や県医師会との連携、さらに、がん患者や家族の声を反映できる支援体制の充実を図ります。

私が秋田県議会に提案した請願書「抗がん剤治療専門医（腫瘍内科医）の早期育成等に関する請願書」が本会議において採択され、秋田本会議から国に対して意見書として提出されました。また、NHKスペシャル「日本のがん医療を問うⅡ」という番組に出演し、秋田に於ける「がん医療」の深刻な現状や問題点を訴えました。



基本政策
2

親の目線に立った子育て支援の充実



子どもたちが安全で住みやすく、元気を取りもどせる地域にするための環境整備や地域のみなさまと連携を図り、地域全体でわかちあえる子育てと教育の充実を図ります。

私の思いは、専業主婦の人も、働きながら子育てをしている人も、子どもを愛する気持ちに変わりはないということです。それぞれの考え方、立場があるでしょうが、子育ての政策については、同じくあるべきと私は考えています。



ピンクリボン運動を応援しています
ピンクリボンは乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボルマークです。

基本政策
3

食料自給率向上に向けた農業政策の充実

農地の整備、担い手等の確保、農業技術の向上等を図りながら、地域の風土に適した食料確保の面からも、農家に対する支援の充実を図ります。



長女・2歳6ヶ月 初めての種まき

